

1 月定例理事会議事録

京都表具協同組合

日 時 令和3年1月12日(火) 午後6時～
場 所 京都市下京区四条通室町東入函谷鉾町78番地
京都経済センター4階 4-C 会議室
理事・監事数 理事10名 出席理事 10名
監事2名 出席監事 2名
出席理事名 田中善茂,中井伸年,田中浩,藤田幸生,関修法,木南拓也,木下泰喜,
福本貴志,味元謙児,宮岸篤史
出席監事名 中島實,小川晶史
青年会長 宮岸篤史
議長の氏名 田中善茂
司会進行氏名 田中善茂

1、12月定例理事会議事録 承認の件

承認

2、総務 田中専務理事

【報告・予定】

- ・表装裂デジタルアーカイブ事業(コロナ社会対応ビジネスモデル創造事業補助金事業)
打合せ:12月21日(月) 光村推古書院(株)
 - 京都府に事業進捗状況の中間報告書を提出後、概算払い(347,6万円)を受けた。
 - 京都府より、本補助金利用事業者に対する「特許等知的財産権取得に関する届出書」の送付があった。補助金を利用して開発した技術等について特許等知的財産権を申請する場合は、事前に京都府に届け出る義務がある。知的所有権は事業者の権利。(募集要項に明記)申請の予定無し。
 - 事業の進捗状況は順調。光村推古書院(株)への中間金(220万円)の支払いは完了した。
 - 次回、全体会議は1月19日(火)午後6時より、経済センター会議室にて
- ・京都市業種別団体等活性化支援事業補助金を申請。(添付書類有り)
 - オンライン型共同受注事業等に対応するための機器類の購入
 - ワードプレス(web制作・編集ソフト)等の講習会の開催(計4回)
2月10日(水)、16日(火)、18日(木)午後6時から 経済センター会議室にて
定員先着20名限定(コロナ感染拡大防止のため)4回目は後日開催予定。
コロナ緊急事態宣言の発令により、経済センター会議室が利用禁止となる可能性がある。
日程変更、開催場所の変更はありうる。
- ・表装裂を愉しむwebサイト利用者説明会
 - 2月20日(土)午後1時より 経済センター会議室にて 定員50名程度
 - web制作の途中経過報告もかねて、この場でwebの画面を閲覧し意見交換した。
- ・西表協京都大会について、開催延期の検討
 - コロナ感染拡大の影響で開催計画が立てられない。開催時期の延期を検討。
 - 理事長から、兵庫 柴田専務理事に連絡。愛媛県連と開催順の交代を含め検討中。
- ・京都伝統工芸協議会 代表者会議 2月22日(月)午後3時よりハイアットリージェンシー
 - 中井副理事長出席で調整
- ・技の継承セミナー 1月23日(土)、1月30日(土)午後2時より 経済センター

- 中止となる可能性が高いが、23日出席：田中専務, 味元理事 30日出席：理事長
- 青年会会員にも案内を送付、参加を促す。

3、情報広報部・共同購買事業 木南理事

【報告・予定】

- ・組合ホームページ上での京表糊のオーダーシート導入を高木氏に依頼。
- ・確認事項
 - 組合販売商品糊等を購入された際の代金、商品発送の流れの確認
代金引換、又は入金確認後の発送を検討すべきとの意見が出された。
今後、販売方法を再検討する。
 - 京都府内の一般の方が購入された場合の送料は、大力との契約で無料となっている。
当組合に負担がないので、メリットと考えてしばらくこのままで様子を見ることにする。
 - 京表糊、京表糊「極」の販売は好調である。片岡糊の在庫が無くなった9月頃からの販売が増えた。11月末時点で、前期、前々期の同時期の販売高を上回った。

【審議事項】

4、会計 藤田常務理事

【報告・予定】

- ・持続化給付金（200万円）・家賃支援給付金（約45万円）は12月の売り上げに関し、理事者の理解と協力を得て、受給資格を得た。
 - 洛会計事務所の協力を得て、本日申請完了。受理される見込み。
- ・年度末決算予想：純利益は概算で220万円程度を想定（但し、誤差が生じる可能性有り）
 - 節税対策として、年度末に福利厚生に関する備品等の配布を行うことを検討
洛会計事務所に相談済（組合員の福利厚生に関するものであれば、認められるとの見解）
3月理事会時点での決算予想をもとに、3月理事会で審議したい。
 - 理事職務の（見えない）働きに対し、最低限の報酬を考えるべきではないか？ との意見があった。意見に対し、多くの理事の賛同があり今後の検討課題とする。今後、具体的事例を検証し、精査の上で判断する。

【審議事項】

- ・組合費減免の延長について（令和3年2、3月分）
 - 未だ、新型コロナウイルス感染拡大は収まらず。第3波の到来。
 - 2月分以降の延長は1月定例理事会で決定することになっている。
 - 1ヶ月の組合費は約33,5万円
 - 仮に減免の延長を行なった場合：6ヶ月間で201万円の収入減となる。
結果として、持続化給付金200万円の全額を組合費の減免に充てた事になる。
- ・コロナ禍勤務特別手当の延長について（令和3年2、3月分）
 - 2月分以降の延長は1月定例理事会で決定することになっている。
 - 1ヶ月の手当総額（2人分）は15,000円
- ・新年度（4月）以降は通常どおりの運営に戻したいので組合費等の減免は行わない予定。

<審議の結果>

- ① 組合費の減免の延長（2、3月分）を行うこと
- ② コロナ禍勤務特別手当の延長（2、3月分）を行うこと

上記を 理事10人中、議長を除く9人の賛成で承認した。

5、建築国保 中井副理事長

【報告・予定】

- ・ 1月10日前進座新春公演
国保関係新年会は、コロナ禍の影響により、すべて中止。
- ・ コロナ禍において、国会議員への陳情を行うのは如何なものか？ 国保組合本部に意見を伝えてほしいとの要望あり。

6、技能士会・技能研修事業 関理事

【報告・予定】

- ・ 1月19日（火）役員会

7、表具事業 味元理事

【報告・予定】

- ・ 表具事業、現在の受注状況について
 - 近日中に表具1点を納品
 - 1点を箱書き依頼に行く。
- ・ 宇治興聖寺屏風の作業見学会は22日を予定しているが、緊急事態宣言で開催は微妙。
- ・ 巻物修理の依頼あり。修理、複製、レプリカ製作を含め見積を行う。

8、販路拡大事業 宮岸理事

【報告・予定】

- ・ つくりて事業報告完了、現在書類の内容に修正が必要な個所や必要な未提出の資料がないか審査中。計画書では、125万円の申請をおこなったが、90万円程度の支出となった。
- ・ アリエッタ関連、祇園宿泊施設に折灯華を設置の件、次回4回目の打ち合わせ。
 - 総額30万円を超える規模となる見込み。
- ・ 販路会議にて、年度末までの販路事業の進め方や折灯華のことについて話し合っている。会議は毎月1回開催している。

【審議事項】

- ・ 京都ギフトショーについて、参加、不参加の決定。

<審議の結果>

緊急事態宣言を鑑み、京都ギフトショーの参加を断念することについて

上記を 理事10人中、議長を除く9人の賛成で承認した。

9、連合会 田中理事長

【報告・予定】

- ・ 後継者育成事業「金彩」技術研修会 令和3年1月30日（土）京都アスニーで開催予定。
 - 開催の判断は年明け。現時点で報告無し。
- ・ 京表具展 東京美術倶楽部 令和3年3月5～6日は、新型コロナウイルス感染拡大のため、中止が決定。
 - 変更届の提出が必要（近経局、京都府）京都ギフトショーについても同様
- ・ 次年度分「技の継承」事業について、京都府から連絡があった。
 - 内容：福知山市内のお寺 涅槃絵の修理、担当は当組合となる模様。日程調整を行い、現地視察を行う。

【審議事項】

- ・ふすま相談室の地域団体商標「京表具」の名称使用について（添付資料有り）
- ・地域団体商標の概略
 - 1、複数団体による共同出願が可能（逆に全ての産地団体を網羅する必要がある）
それぞれの団体が商標権者となる。それぞれが独自に使用基準を定める。
 - 2、使用権の及ぶ範囲（25条）
京都府内で製造されたものであること
 - 3、移転の制限がある（24条の2 第1項）
事業協同組合の合併等の一般承継（包括承継）の場合のみ移転が認められる。
譲渡の禁止。
 - 4、専用使用権の設定不可（30条1項但書）
 - 5、先使用権（先使用による商標を使用する権利）（32条）
当該商標出願前から日本国内において不正競争の目的なく、同一もしくは類似の商標を使用していたものは、その商標を使用する権利を有する。
 - 6、通常使用権（31条の2）
地域団体構成員（組合員）は、商標権者（組合）が定めた範囲内において、当該商標を使用することができる。任意団体については規定がない。
⇒ 任意団体とは、法人格の無い社団であり、「権利能力なき社団」と定義され、契約の主体にはなれず、法的責任能力もない。
⇒ この通常使用権を例外的に任意団体に対し認めるかは、商標権者が判断すべき事項。
中央会は、消費者に誤解が生じさせる可能性を指摘。任意団体に対し、安易に商標使用を認めるべきでは無いと当組合に対し指導。

理事会は、中央会の指導に従うべきであると判断した。

10、表美展事業 福本理事

【報告事項】

- ・特になし

11、刷毛供養、福利厚生事業 木下理事

【報告・予定】

- ・次年度の新年会は、1月14日、15日のいずれかで検討中。場所は、ブライトンで開催。

12、青年会

【報告・予定】

- ・コロナの影響で年間を通して、あまり活動ができなかった。
- ・「技の継承セミナー」の案内を電子メールで会員に送付する。

13、その他

【報告・予定】（理事長より）

- ・障子紙などの和紙メーカーからの購入促進の為のサンプルを配布。
（加徳、丸ニなどで購入できる）当組合での販売はしない。

【今後の理事会について】

- ・緊急事態宣言を受けて、今後の理事会をオンラインで行なってはどうか？ とい

う意見が出された。理事会一同の賛同を得たので、次回より暫くの間、理事会を Zoom にて行う。オンライン会議に対応できるように 4K テレビの導入を検討。

▶ 次回までに、理事会各位に取扱説明を送付する。

次回、2月定例理事会は2月2日（火）午後6時から Zoom 会議を行う予定

議長は、以上をもって議案の審議を終了した旨を告げ、閉会を宣す。本理事会の議事の審議要領及びその結果を明確ならしめるため、本議事録を作成し、議長並びに出席理事は、次に記名押印す。

議 長	田中 善茂	出席理事	中井 伸年
出席理事	田中 浩	出席理事	藤田 幸生
出席理事	木南 拓也	出席理事	関 修法
出席理事	味元 謙児	出席理事	福本 貴志
出席理事	木下 泰喜	出席理事	宮岸 篤史
出席監事	中島 實	出席監事	小川 晶史
		(議事録作成理事)	田中 浩